

（表）

平成27年11月11日

地域みんなでまちづくり会議活動報告書

地域みんなでまちづくり会議の内容について次のとおり報告します。

地区名	第三小学校通学区域	報告者氏名	鈴木 義雄
開催日時	平成27年11月10日（火） 午後7時から8時30分まで		
会場	第三小学校通学区域危険箇所		
参加者	市長の出席（有・無） 市民16名、地域担当職員3名 合計19名（うち男性14名 女性5名） 事務局1名		
（議題等）			
① 防災マップについて			
② 避難マニュアルについて			
③ その他			
（会議の内容）			
① 防災マップについては、避難マニュアルを作成していく中で追加及び修正はできるため、 現段階では事務局案のとおりとする。			
（事務局説明）			
・ 前回の会議にて決定した修正及び削除箇所反映し、避難所・避難場所、急傾斜地崩壊危険箇所等を追加した。			
② 本日協議された事項等を数本の柱とし、グループごとでの討論後、全体での討論を行った 上で、防災マップ及び避難マニュアルを作成していく。 なお、次回会議前に、役員及び事務局でグループでの検討事項等を協議する。			
（主な意見等）			
・ 地震と風水害に対する対応に分け、時系列での必要な事項としてまとめた。（事務局）			
・ 「東京防災」については、情報量が多過ぎるため、壁などに貼れるものがよく、例えば、 家庭で使えるチェックシートのようなものがよい。			
・ 準備しておくべきもの、行動すべきこと、連絡先がわかるようなものを自らが記入できる ものがよい。ごみカレンダーはわかりやすい。			
・ 三小地域に適したわかりやすいものがよい。			
・ 部会などの少人数で話し合っていくのはどうか。			
・ 「東京防災」を市民に周知していくべきではないか。			
・ 避難所の運営マニュアルが必要である。			
・ 避難所の運営については、初動隊や市職員が行うため、市が作成すべきものと思われる。 防災安全課に確認する。			
・ 避難所へ安全に避難するにはどうしたらよいかなどは、地域住民が自ら考えていくべき			

（日本工業規格A列4番）

(裏)

である。

- ・ 保育所では、備蓄や園児の避難経路などの確認を行っている。
- ・ 地域の活性化につながる防災マップ作りが趣旨であった。
- ・ 防災に対しての危機感や考え方が一方的な発信になっても仕方がない。
- ・ 全体の会議ではなかなか意見を述べづらい。検討すべき事項をいくつか柱建てしてもらって、それをもとに少人数で話し合い、それを全体にフィードバックすれば、様々な意見が出てくるのではないか。

③ 次回は、平成28年2月10日（水）午後7時に中藤地区会館にて開催する。

(その他)

(次回予定)

日 時 平成28年2月10日（水） 午後7時から

会 場 中藤地区会館

議 題 等 避難マニュアルについて

(地域担当職員)			(協働推進課)			(協働推進課処理欄)
班員	副班長	班長	担当	主査	課長	